

学級新聞作りへ準備

琴浦・聖郷小で本紙記者が指導

記事の書き方や写真の選び方を学ぶ
児童 24日、琴浦町の聖郷小



琴浦町幼の聖郷小（河野俊隆校長）で24日、4年生18人が新聞を使った授業に取り組んだ。自分たちで学級新聞を作るための事前勉強で、日本海新聞の記者から記事の書き方や写真の選び方などを学んだ。

児童らは、一人に1部ずつ配られた新聞を読みながら授業に臨んだ。講師を務めた新日本海新聞社中部本社読者センターの尾上明記

者は「間違いない記事にするためには人の名前をフルネームで書き、習った漢字を使おう」などとアドバイス。児童らは、記事の構成要素となる「5W1H」や、文章の前半に重要な出来事を書くなどの説明を受けると、真剣に耳を傾けた。今後、学んだことを生かしながら、班ごとに分かれて学級新聞を作っていく。門脇巨歩君（10）は「大事なことを先に書くことを初めて知った。見る人が分かりやすい新聞を作りたい」と話した。

（高田弘記）

本社HPに動画